

キッズデイ藤の森

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		昨年と比べ学年で建物を分けている為、活動スペースは確保できていますが、人数も増えてきている為更なる改善をしていきたいと思ひます。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			障害者総合支援法に基づき、職員を配置しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		双方の建物の入口にスロープは設置していますが手すりがないため改善が必要な部分があります。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		職員会議などで個人の課題や全体の目標を話し合っています。PDCAについては共通理解のもと今後も進めたいと思ひます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			今回のアンケートを集計し配布するとともに寄せられた意見に関して法人で検討し改善に努めていきたいと思ひます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			自己評価の結果は当法人ホームページに記載しております。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		現在の段階で第三者による評価の受審はありませんが、今後評価を受けること検討し、業務改善につなげていきたいと思ひます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			研修に行った際の報告や職員会議でフィードバックを行えるようにしています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			相談支援専門や関係機関と連携しながら子どもと保護者のニーズや課題を分析しています。また、半年に一度保護者や本人と面談を行い、課題を分析しながら計画内容を検討しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			法人独自のアセスメント表で統一しています。適宜追加したほうが良い項目や不要な項目など話し合い、アセスメント表の適正化を図るようにしています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか		○		活動プログラムについては定期的にチームで見直す機会を設けています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○		プログラムは固定し、中身は変えるなど工夫はしていますが、なるべくリズムづくりができるような機会を設定しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日、休日、長期休暇それぞれその時にしかできないことや午前・午後でプログラムを変えるなど行っています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		保護者の方からのニーズでお友達との交流がたくさん上がっております。人数も増えてきている小集団と大集団に分けることや必要に応じて個別の場面も設定しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		開始前は送迎に出るため職員が揃わず打ち合わせができないため、前日やお昼、会議の際に話し合えるようにしています。定期的に職員会議を行っている為その際に確認できるようにしています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		終了後は送迎に入るためスタッフが揃わず打ち合わせはできていませんが日々の支援日誌を通して情報を共有しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			連絡帳とは別に、日々の様子を支援日誌として記録しています。職員会議の際に支援の振り返りや検証・改善につなげていきます。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		半年に一度保護者や本人、また学校を訪問し学校での様子を踏まえたくえて計画の見直しを行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○		行事や季節ごとに合わせた活動・選択できるような活動を提供しています。今後も支援のバリエーションを増やし活動の幅を広げていきたいと思
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者または担当職員が参画するようにしています。また、会議の内容に関して職員会議で共有するようにしています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		学校に訪問し児童の情報共有や送迎時の連絡調整など行うようにしています。時間割表や行事予定をいただき下校時刻の確認を行っています。ただし、遠方な学校は訪問機会に限られるため地域の学校に比べて連携が少ない状況にあります。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	現段階で常時医療的ケアが必要な子どもさんはいませんが、アセスメント時にかかりつけ医や緊急時の対応を保護者と話し合っています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	就学前に地域の児童発達支援事業所を利用していた子どもさんに関しては情報が共有できていますが、他事業所や保育園等と情報が共有できていないのでそこが課題として出ています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		卒業予定の方に関しては、相談支援専門員を介して情報を共有し卒業後の支援をスムーズにできるようにしています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	現在、研修に参加はしているが専門的なセンターとの連携や研修の参加ができていないため情報を集めたいと思います。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	現段階で、地域のクラブや児童館との交流が少ない状況にあります。今後、地域のイベントなどを通して交流が図れるように検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		自立支援協議会(こども部会)には参加をし、他職員には会議の際に情報を共有しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		利用時の状況に関しては、日々の連絡帳でのやり取り、送迎時に伝えることで状況の伝達を行っています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	質問や相談があった際は関係機関と連携し事業所での取り組み等をお伝えするようにしています。ただし、療育の講座や保護者の皆様との勉強会などは開催できていないため、開催を検討し
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に運営規定・重要事項説明書の説明を行っています。難しい内容なので説明の際には質問の時間を適宜設けわからないところはその場でお伝えしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		連絡帳や送迎時に相談があった際はその都度お答えし、チームでも共有しています必要な場合には関係機関とも共有しています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	現在、父母の会や保護者会は実施できていない状況です。保護者の皆様の意向を踏まえ親子参加の活動などを通して保護者同士の交流の機会を設けていきたいと思

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情については、苦情受付担当者や相談・苦情窓口を設置していることを契約時にお伝えしています。職員へは苦情解決のマニュアルを周知し、苦情に対して迅速に対応できるように行っております。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○	定期的な会報は発行できていない状況です。保護者の皆様や子どもさんの楽しみの一環・予定の把握ととして発行していきます。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報については、事前に許可が得られた方は使用するなどしています。また契約時にも個人情報については説明を行っております。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		ジェスチャーや具体物を使い伝達や疎通を図っています。また、連絡帳を活用し情報の共有に努めています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	現在、地域住民を招いての活動は行えていません。今後の活動の中に地域住民を招いての活動を計画できるよう努めていきます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	各マニュアル集を作りいつでも確認できるようにしています。周知しきれていない部分もあるので周知を徹底していきたいと思います。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○	災害訓練は不定期の実施なので今後いろいろな場面を想定して実施していきたいと思います。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		権利擁護・虐待防止に関する内部研修を法人全体で実施しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		現在、身体拘束が必要なお子さんはいらっしゃいませんが、契約時に説明を行い状況に応じて個別に対応するなどしています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	現在、食物アレルギーがある子どもさんはいらっしゃいませんがアセスメント時に聞き取りを行っております。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットがあった場合はその日に共有できるようにしています。